

もう6年生なんだから・・・！！

4 エピソード

運動会は誰の競争？

秋晴れになった10月10日。今日は小学校の運動会です。6年生の恵梨奈さんは国語も大好きですが、運動も大好きです。今日は得意のかけっこで1等賞をとる小学校最後のチャンスです。同じくらい足の早い早苗ちゃんには負けたくないの、体育の時間にも一生懸命練習してきました。昨夜も少し不安でいつもより寝付くのが遅くなりました。

お母さん 「いつまで寝てるの。学校に遅れるわよ。お弁当も水筒も準備したわよ。」

恵梨奈 「えっ、どうして起こしてくれなかったの？」

お母さん 「何度も起こしたわよ。とにかく全部準備してあるから着替えて、ご飯も食べていってらっしゃい。お母さんもお父さんも後から見に行くから。」

恵梨奈 「髪の毛ちゃんと結んでほしいのに、えっお弁当に卵焼きがない・・・、靴下はあのピンクのが良かったのに・・・洗濯中？」

しゅしゅ、準備して学校へ出かけましたが、気分がすっきりしません。運動会が始まって、いよいよ6年生の100m走の時間です。お父さんはゴール近くにビデオカメラを持ってスタンバイしています。お母さんは素敵なよそ行きの服を着て、来賓席の前まで進出して「えりちゃんががんばって！」と声を張り上げています。数人の保護者もわが子が見やすい場所にと、どんどん前に出ています。「よ～い、ドン！」ピストルがなって、一斉に走り出しました。すると、すぐに運悪く靴が抜けてしまい、恵梨奈さんはおもいっきり走れず早苗ちゃんに負けて2位になってしまいました。悔しくて涙が出てきました。「お母さんがお気に入りのピンクのソックスにしてくれなかったからだ」と思いました。楽しみにしていた小学校最後の運動会は恵梨奈さんにとって残念な結果になってしまいました。家に帰ってからも恵梨奈さんの気持ちはおさまらず、「お母さんのせいだからね」とぷんぷんです。



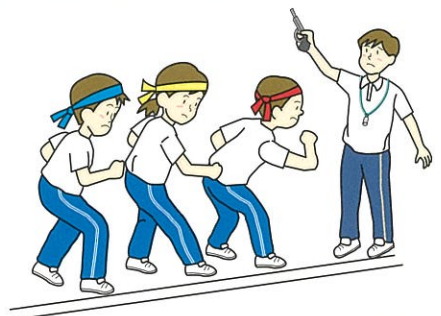
1 この話の中で書き換えたいと思うところがありましたら何箇所でも良いので、アンダーラインを引いてください。どのように書き換えたいかグループで話し合ってみましょう。

2 家に帰っても機嫌の悪い恵梨奈さんにどのように接しますか。

お母さんの気持ちになって

お父さんの気持ちになって

話を聞いた祖父母の気持ちになって



3 子どもを信頼して任せられることはどんなことだと思いますか。話し合ってみましょう。